

敵兵は、雨に隠れていた。

1642年11月、清軍が最後の防衛線、黄崖関を突破。あの時、天候変化に強い広域監視技術があれば、歴史は変わっていたかも知れない。



背景との識別がしにくいほどに小さく映った人物も自動で検知。

紀元前、秦の始皇帝が辺境防衛に築いた万里の長城。一万里^{*}を超える偉大な城壁も1642年11月、清軍の第5次華北侵略により、明朝は壊滅的打撃を受けるに至りました。もし、富士通の屋外広域監視技術で広大な長城の要所を見守っていただければ、たとえ敵の騎兵が雨に乗じてやって来ても確実に検知していたに違いありません。独自の「周波数パターン差分法」が、高周波、低周波

の両方から背景と物体のパターン差異を測定。従来は雨が降ると見えづらかった人の姿を、75m四方の広域にわたり、95%以上の精度で見つけ出す検知システムを実現したからです。これからは、天候変化の影響を最小限に抑えて、24時間365日自動監視。広い屋外の安全を見守っていく、富士通です。

*中国の単位「華里」に換算。



[天候変化] 雨や曇の日でも、背景と物体の周波数パターンの差異から、侵入者を95%以上の精度で検知。

天候変化に強い

富士通の屋外広域監視技術

人影は、日差しに隠れていた。

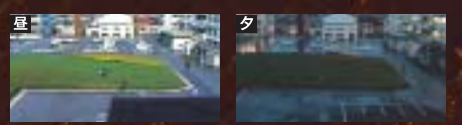


背景との識別がしにくいほどに小さく映った人物も自動で検知。

1939年に発見された地上絵は、すでに踏み荒らされ、消滅の危機に瀕していた。あの時、日照条件を克服する広域監視技術があれば、歴史は変わっていたかも知れない。

アンデス山脈を臨む、ナスカの地上絵。しかし、上空から見てもそこに何が描かれているのかすぐには認識できません。今は世界遺産として厳重に保護されているこの場所に、人々の無数の足跡や車の轍、道路などが混ざり合っているからです。もし、富士通の屋外広域監視技術で広大な草原の要所要所を見守ってれば、たとえ誰かが日影にまぎれてそこに足を踏み入れても、確実に探知していたに

違いありません。独自の「周波数パターン差分法」が、高周波、低周波の両方から背景と物体のパターン差異を測定。光と影のコントラストが強いほど特定しづらくなる人の姿を、75m四方の広域にわたり、95%以上の精度で見つけ出す検知システムを実現したからです。これからは、移り変わる日照条件の影響を最小限に抑えて、24時間365日自動監視。広い屋外の安全を見守っていく、富士通です。



【日照変化】 日向や日影に関係なく、背景と物体の周波数パターンの差異から、侵入者を95%以上の精度で検知。

日照変化に強い

富士通の屋外広域監視技術

盗掘者は、風に隠れていた。

紀元820年、クフ王のピラミッドに盗掘者アル・マムーンが侵入。あの時、強風による振動にも耐える広域監視技術があれば、歴史は変わっていたかも知れない。



背景との識別がしにくいほどに小さく映った人物も自動で検知。

ギザの砂漠にそびえる「クフの墓」と言われるピラミッド。無数の巨石を積み上げた北面ほぼ中央には、なぜか本来の入口とは別の大きな穴が空いています。紀元820年、王の財宝を盗み出そうと企んだアル・マムーンによって開けられた盗掘坑です。もし、富士通の屋外広域監視技術で広大な砂漠の要所要所を見守っていれば、たとえ盗掘者が砂嵐に乗じて近づいても確実に見つけ出して

いたに違いありません。独自の「局所パターン補正差分法」が、風などによる振動で生じるカメラの揺れを自動的に補正。従来はカメラが揺れると捉えにくかった人の姿を、75m四方の広域にわたり、95%以上の精度で見つけ出す検知システムを実現したからです。これからは、強風による振動の影響を最小限に抑えて、24時間365日自動監視。広い屋外の安全を見守っていく、富士通です。



[カメラの揺れ] カメラが揺れても、局所パターンごとに背景位置を補正し、侵入者を95%以上の精度で検知。

振動に強い

富士通の屋外広域監視技術